

令和 4 年度神奈川県災害医療関係事業の報告について

1 研修

(1) 災害時医療救護活動研修会

概 要：医療関係者に対する災害対応機関との連携や災害医療の知識の習得、トリアージ技術の向上を目的とした研修

日 時：令和 4 年 11 月 17 日

場 所：オンライン開催

対象者：医師、歯科医師、薬剤師、病院職員、消防職員等

参加者：756 名（ほかアーカイブ視聴数 217 名）

(2) 地域災害医療コーディネーター研修

概 要：地域災害医療コーディネーターに対する医療救護活動の戦略立案や本部運営の技術向上を目的とした研修

日 時：令和 4 年 11 月 20 日

場 所：神奈川県総合医療会館

対象者：地域災害医療コーディネーター、保健福祉事務所職員等

参加者：37 名

(3) 神奈川DMAT-L養成研修

概 要：本県でのDMAT活動を強化するため、神奈川DMAT-L（LOCAL）隊員養成を目的とした研修

対象者：災害拠点病院、災害協力病院の医師、看護師、業務調整員

日 時：① 令和 4 年 6 月 17 日、18 日（県単独開催）

② 令和 5 年 2 月 24 日、25 日（横浜市との共催）

場 所：① 県総合防災センター

② 神奈川県立衛生看護専門学校

参加者：① 34 名

② 40 名

2 訓練

(1) ビッグレスキューかながわ

概要：大正型関東地震を想定し、自衛隊、在日米軍及び医療関係機関等との連携強化を図るとともに、沿岸町の津波対応力を高める。また、自主防災組織を中心とした地域防災力の向上と防災意識の高揚を図ることを目的とした訓練

日時：令和4年10月16日

場所：南郷上ノ山公園、横須賀共済病院、横須賀市立市民病院、湘南鎌倉総合病院、横須賀市立うわまち病院 ほか

参加者：神奈川DMAT、神奈川DMAT-L、医療関係機関約530名

(2) 大規模地震時医療活動訓練

概要：南海トラフ地震を想定し、大規模地震時の医療活動に関する総合的な実動訓練

日時：令和4年10月1日

場所：静岡県、愛知県、三重県、和歌山県

参加者：神奈川DMAT 29チーム、医療危機対策本部室災害医療グループ

(3) 令和4年度関東ブロックDMAT訓練

概要：茨城県茨城県沖～房総半島沖地震鹿行医療圏の被災を想定した実動訓練

日時：令和4年9月17日、18日

場所：茨城県内

参加者：医療機関（災害拠点病院28機関 137名）※コントローラー含む

(4) 通信訓練

概要：県医療救護本部と災害拠点病院等との連絡を確実なものとするため、衛星電話及びMCA無線の通信訓練を定期的実施。また、EMISの操作方を修得するため、各機関が定期的にEMISを操作することができる訓練日を設定

	実施日
衛星電話	(1、4、7、10月)の11日前後
EMIS	(2、5、8、11月)の11日前後
MCA無線	(3、6、9、12月)の11日前後

参加者：災害拠点病院、災害協力病院、日本赤十字社神奈川県支部

3 会議

(1) 災害医療コーディネーター会議

ア 第 35 回

日 時：令和 4 年 7 月 12 日

場 所：オンライン開催

概 要：災害医療に係る各種会議体の位置づけについて調整

イ 第 36 回

日 時：令和 4 年 10 月 25 日

場 所：オンライン開催

概 要：保健医療救護計画の改定及び神奈川県災害医療コーディネーター会議
設置要綱の改正について調整

ウ 第 37 回

日 時：令和 5 年 2 月 20 日

場 所：オンライン開催

概 要：令和 5 年度事業スケジュールや保健医療救護計画の改定などについて
調整

(2) 地域災害医療対策会議の開催状況

小田原保健福祉事務所のみ、3月に書面開催で実施予定。議題は「令和 5 年度
の取組について」など

4 その他

(1) 災害拠点病院及び災害協力病院の指定状況

- 災害拠点病院：35 病院（令和 4 年度に 2 病院追加）
- 災害協力病院：46 病院（令和 5 年 3 月末時点）

(2) 神奈川DMAT及び神奈川DMAT-Lの整備状況

- 神奈川DMAT隊員数(令和 5 年 3 月末時点)：410 名
※ 令和 4 年 4 月時点：385 名
- 神奈川DMAT-L隊員数(令和 5 年 3 月末時点)：254 名
※ 令和 4 年 4 月時点：200 名